

いきいき生っ子

平戸市立生月小学校

学校だより

令和2年

10月14日 文責：平松紀子



◆五感を使って、季節を感じよう

日に日に秋の深まりを感じる今日この頃です。1日は、中秋の名月でしたが、きれいに輝く月が見られました。学校の近くでは、秋の七草である、ハギやススキが見られています。「暑さ寒さも彼岸まで」といわれるように、朝夕が涼しくなり、登校する子供たちの姿も長袖、長ズボンになってきています。

と秋が近づいていることを感じていたのですが・・・。

5日、校門のところで、ビックリ！！桜が咲いていたのです。そこで、私は子供たちに、「なんか変だよね。」と聞いてみました。すると、「校長先生、桜が咲いています。今、春じゃないのに。」と言ってくる子供と、なにか変なことあるかなという顔で不思議そうにしている子供とに様子が分かってしまいました。私はこの様子を見て「枯れ木に花が咲いたみたい。花さかじいさんがやってきたみたいだね。なぜかな？」と言って子供たちと話したところでした。

生月小学校の教育目標の最初に「人間性豊かで・・・」とあります。四季の移り変わりを感じることも豊かな心につながるのではないのでしょうか。子供たちには、もっと五感（目、耳、口、鼻、手）を使うことが必要だと思いました。教育活動の中でも五感を意識しながら、体験をさせていきたいと思います。ご家庭でも、季節の移り変わりなどを通して、五感に触れる言葉かけや活動をいっぱいさせてほしいと思います。

先日、アゴの初物を白ご飯と一緒に食べました。やっぱり最高です。これこそ、秋の味覚ですね。



◆五感を使っての体験4年生！



4年生の「総合の学習の時間」では、福祉に関係することなどを教材として学んでいます。

そして、自分たちにできることについて考えています。以前お伝えした、ボトルキャップ集めもその一環です。今回は、車いす体験やアイマスク体験、高齢者疑似体験を行いました。子供たちは、五感を使っての今回の体験で、いろんなことを感じ、障害のあるかたや高齢者の方々にとどのように接して行けばよいのかを学んだようです。（裏へ続く）

○アイマスク体験をして、目が悪い人や目が見えない人は、生活が非常にできなくなるかもしれないと思いました。白杖には、大切な役割があることがわかりました。それは、障害があつたらすぐに分かるし、階段とか注意しながら歩けるからです。 4年

○ぼくは、車いす体験が心にのこりました。そして、体験での段差のところが、すごくこわかったので、高れい者の人たちは、どう思っているのだろうと思いました。また、アイマスクをする目が見えないので、階段の上り下りがこわかったです。 4年

○私は、一番車いす体験が心にのこりました。車いす体験をして、段差のある所は、どうやって上るのか、坂道やくだり坂はどうやって上ったり下ったりするのか分かりました。私は、その体験をして、高れい者の人たちと学校でふれ合う時間があるなら、車いす体験でのことをためしてみたいと思いました。そして、家族や友達にも話したいと思います。 4年

○私が心に残ったのは、車いす体験です。初めて車いすに乗るとなつてから、ワクワクしていました。じっさいにやってみると、押すのは大変だし、乗ると段や坂は少しこわかったです。そして、高れい者ぎじ体験では、おばあちゃんがいたいと思っている気持ちがわかりました。アイマスク体験は、目が見えないと、こんなに怖いんだなあと思いました。 4年



令和2年度 生月小学校運動会 10月25日(日)

入場開始 8:25
開会式 8:30
競技開始 8:50

今年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため、観客の制限と縮小をして行います。午前中だけの運動会になります。

◆ぼくたちは、練習の時、大きな声を出して応援の練習をし、勝利の道へ突き進んでいます。赤組は、みんなで力を合わせて楽しい応援にしようと頑張っています。皆さんの応援をお待ちしています。
赤組 応援団長

◆私は、白組のみんなを引っ張って紅組に負けないように頑張ります。そして、応援では、みんなで心をつなげて、今年はやりの芸人のギャグなどをひろうるので、ぜひ見に来てください。
白組 応援団長

